



校長室便り 明日から夏休みが始まります！



文責 校長

週間天気予報を見ると、数日、雨の日があり、梅雨明け宣言はまだ先のようですが、それでも最高気温が30度を超える日がずらりと並び、いよいよ夏本番を迎えようとしています。そんな中、学校は72日間の1学期を終了し、明日から33日間の夏休みに入ります。子どもたちをご家庭にお返し致しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



終業式後に1学期の通知表を渡しました。1学期の子どもたちのがんばりは、おうちの方がどのようにお子さんに関わってきたか、その成果でもあると思っています。通知表をもとに、この1学期を振り返り、お子さんと一緒にがんばってきたことや、お子さんと夏休みにがんばることを話し合ったりして、充実した夏休みにつなげてほしいと思います。

【サマーフェスティバルを開催しました】

有浦小の夏の行事と言えば、「サマーフェスティバル」です。PTAのダディ部の方々が中心となって、様々なお店を出店します。今年もたくさんのお店が体育館いっぱいに軒を並べ、子どもたちや保護者の皆さんで楽しみました。ダディ部の皆さん、楽しい時間を提供して頂きありがとうございました。



フランクフルト大盛況！！

ババへらアイスも人気です

暑い中、発売ご苦労様です

【夏休みの生活でご家庭にお願いしたいことについて】

33日間の夏休みは、子どもたちが学校から離れ、家庭や地域での生活が中心になります。そのため、子どもたちにとって夏休みが充実したものになるかどうかは、保護者の皆さんの声かけや関わり方次第で大きく変わってくると思います。本日の終業式で子どもたちにもお話しましたが、ご家庭でのルールや地域での過ごし方について、いくつかお願いがありますのでよろしくお願いいたします。

(1) お願いの1 地域で生活するということ

一つ目は、地域で生活する上で、地域の一員としての自覚を持ち、地域から常に見られているということを自覚して生活してほしいということです。1学期中、子どもたちが関わった大きな生徒指導事案はありませんでしたが、その代わり、子どもたちの様子について、地域の方からの苦情が数件寄せられました。数例を紹介します。

- ①男子児童が、車を運転している一般の方に向け挑発行為を行い、注意を受けた。
- ②女子児童が、地域の方からのあいさつに対して、無視をただけでなく、相手の方を誹謗中傷する言葉を言いながら立ち去っていった。
- ③女子児童が自転車で飛び出しをし、車で轢きそうになった。その子たちは、いつも自転車の乗り方が悪く、ヘルメットをしていないことが多い。

これらの行為自体、問題ですが、それに加えて次のことも意識しなければいけません。それは、こうした行為によって、ルールを守って真面目に生活している子どもたちも同じように評価されてしまうということです。とても残念なことです。学校でもあいさつの大切さや公共心について指導はしていますが、基本的にはご家庭での指導によるものが大きいと思います。地域の方の目がなくてもルールやマナーを守った正しい行動ができるようにしたいものです。

(2) お願いの2 夏休みではあるけれど、学校生活を意識してください



夏休みは、いろいろなことを経験できる機会ですが、どうしても開放的になりがちです。でも、夏休みはあくまでも学校生活の延長であることを意識して生活をさせてほしいと思います。起床・就寝時間が遅くなって生活リズムが乱れたり、髪を染めたいとか、ピアスをしたいなど、普段しないようなことを要求したりしてくることがあるかもしれません。「夏休みが終わったら元に戻せばいいよね」と安易に思ってしまいがちですが、子どもたちにとって一度下げたハードルを戻すことは至難の業です。夏休みだからこそ、自律的な生活ができるよう、ご指導と見届けをお願いします。

保護者面談を有効に活用してください



明日から、保護者面談が始まります。お忙しい所、お時間を取っていただきありがとうございます。1学期の通知表には所見がありますので、学校でのお子さんの様子を知っていただくよい機会であると思います。面談に当たっては、次のことについてご配慮いただければと思います。お一人当たりの面談時間は、15分程度ですので、たくさんのお話についてお話をすることは難しいかと思ひます。予め、ご相談したい内容やうかがいたい内容を決めておいていただくと、面談がスムーズに進むと思います。お子さんと一緒に、担任の先生に聞いてみたいことを相談しておくのもよいかもしれませんね。

面談の中で、学級担任から検査を勧められることがあります。これは、お子さんの学習面や生活面でつまずきが見られるときに相談させていただく場合があります。この検査は「WISC-V（ウィスク5）」と言われ、お子さんの得意な面や苦手な面を知って、今後の支援に生かすためのものです。「検査」と言われると抵抗がある方もいらっしゃると思いますが、お子さんの学びづらさや生きづらさを知り、上手に対応することで、学校生活やその後の社会生活に適応しやすくできるようにするためのものです。どうかご理解をお願いいたします。

～いちばん大事なのは自分の中身や価値であって、社会がつくったお仕着せの線路や
ルールではない～

米倉誠一郎

